

平成23年3月版『住宅用建材使用状況調査』の概要

2011年6月

本調査は調査部会が住宅サッシメーカー5社の協力を得て平成22年9月に調査を行ったもので、今回で通算35回目となる。

1. 調査対象

平成21年から、22調査時まで建てられた全国都道府県（沖縄を除く）の居住専用の木造並びにプレハブ住宅を対象とした。「戸建住宅」では有効調査数4,380票（戸）を集計して3,000に基準換算し、「共同建住宅」でも1,245票（棟、約8,700世帯）を1,000に基準換算した上、双方を区分して一冊にとりまとめた。

2. 調査の概要

調査項目は、住宅の「工法」「階数」「床面積」「外壁材料」の特性、及び「窓」「出入口」「エクステリア」に使用されている「製品タイプ・取付率」「材質」「仕上色」等である。項目毎のデータは、全国平均値の他、①地域別9区分（46都道府県別）②断熱地域別5区分③工法別3区分について分析した。19年度より防犯対策（C P）製品の取付状況を調査項目に加えた。

1) 戸建住宅の主要項目概要

*数値表記：今回%（前回%）

- ① 階数別構成比は「2階建」が89.4(89.1)と大多数を占める。「平屋建」では全国平均4.7(4.6)に対し九州の17.9(14.5)が、「3階建」では全国平均5.9(6.3)に対し関東の9.5(10.9)、近畿の10.2(11.4)が比較的多く、特徴を示す。
- ② 外壁仕上げは、「窯業サディング」が75.3(73.6)、さらに「サイディング合計」で82.8(82.2)を占める。「モルタル」は12.4(12.5)で横這い傾向にある。
- ③ 窓のアルミ化率は、全国で94.0(94.6)に達し、「樹脂サッシ」は6.0(5.4)となっている。「アルミ複合材料製」は33.8(33.5、10年10.0)で、寒冷地一帯に伸張している。
- ④ 窓のタイプ別構成比は「引違い窓」47.4(48.4)、「出窓」1.0(1.2)、「和室二重窓」0.6(0.6)、特殊窓49.4(48.1)、「テラスドア」1.6(1.7)と、それぞれ横這い傾向が続く。「二重窓」はゼロとなった。
- ⑤ 特殊窓の内訳は、全国平均で「開きタイプ縦軸」38.1(36.6)、「上げ下げ」18.5(18.7)、「FIX」18.4(18.5)、「ルーバー窓」7.6(9.1)、「開きタイプ横軸」15.5(14.6)となっている。
- ⑥ 主要製品の「色」では、全国平均「ライトグレー」75.6(72.3)、「ホワイト」7.4(6.6)、「ブロンズ」6.5(7.9)、「ブラック」4.6(6.5)、「ダークグレー」4.2(4.8)となっており、「ライトグレー」75.6(H13 18.6)の伸張が著しい。
- ⑦ 玄関ドアのタイプは、「開戸」が全国平均で88.9(89.5)を占め、引戸では中国22.0(13.9)、北陸18.0(18.1)、九州18.3(18.7)が高い。
- ⑧ 断熱製品の取付率は全国平均で窓数比39.8(38.9、10年16.4)で増加している。断熱Ⅰ地域では98.9(98.2)、Ⅱ地域でも97.8(98.5)と、ほぼ完全に断熱化している。
※断熱製品 ⇒ 樹脂製・複合材料製・複層ガラス入木製
- ⑨ 複層ガラスの取付率は、全国平均では「戸数比」97.2(95.7)、「窓数比」94.8(91.3)となった。断熱地域区分Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ地域においては「戸数比」で、ほぼ100%となった。Ⅳ、Ⅴ地域でも「戸数比」で96.5(94.7)、90.5(84.1)と伸びている。
- ⑩ 窓への防犯（C P）ガラス取付率は戸数比7.9(7.2)、玄関へのC P製品取付率は戸数比4.2(4.6)となっている。
- ⑪ 浴室ドアの材質別比率ではアルミ製76.9(66.1)、樹脂製22.7(33.0)となり、タイプ別比率ではドア29.2(28.7)、引戸26.3(24.8)、中折戸44.5(46.5)となっている。
- ⑫ 雨戸の取付率「戸数比」は全国65.9(66.5)で横這い。雨戸の内、「シャッター雨戸」構成比は85.3(85.2)まで達した。尚、「雨戸」と「面格子」の地域別取付率分布状況は符合して重なる。

2) 共同建住宅の主要項目概要

- ① 1世帯当りの「平均床面積」は38.7(39.3㎡)と微減。40㎡未満の地域は関東と四国である。
- ② 外壁仕上げはサイディング合計で88.9(86.0)を占める。
- ③ 窓のアルミ化率は、全国平均88.9(85.3)となり、内複合材料製は12.5(10.2)である。樹脂製12.7(14.7)は戸建より高い。
- ④ タイプ別構成比では「引違い窓」が57.3(56.8)を占め、戸建47.4(48.4)に比べ高い。
- ⑤ 主要製品の「色」では全国平均、「ライトグレー」66.7(60.6)、「ホワイト」20.5(21.5)、「ブラック」6.4(9.2)、「ブロンズ」2.4(3.4)、「ダークグレー」3.5(4.1)となった。「ブラック」は11年の59.7%を頂点に減少している。
- ⑥ 断熱製品取付率は、全国平均で窓数比25.2(24.9、10年10.1)と漸増している。断熱Ⅰ地域97.6(99.3)とⅡ地域98.2(98.6)は90%以上となっている。「戸建」に比べ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ地域の断熱化は立ち遅れている。
- ⑦ 複層ガラスの取付率は、全国平均では「棟数比」75.0(62.6)で「窓数比」72.9(59.4)。「棟数比」において、Ⅰ地域100.0(100.0)、Ⅱ地域100.0(100.0)と、共に標準装備となった。
- ⑧ 雨戸の取付率は「棟数比」では59.3(55.6)と「戸建」65.9(66.5)より低い。一方「シャッター比率」は90.8(90.8)となって、「戸建」85.3(85.2)を上回り、共同建特有の制約された「間取り」を現わす。

以上

(社)日本サッシ協会 (社)カーテンウォール・防火開口部協会 調査部会

※集計表を併せ収録した「住宅用建材使用状況調査」を購入手続きの方は(社)日本サッシ協会へ直接申込み下さい。

価格 5,250円/部(送料別途)

Fax03-3500-3477